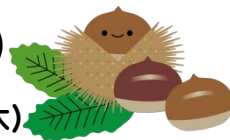


2年生 国際理解講演会(国際理解コース対象)

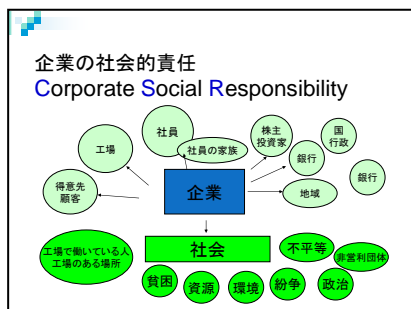
令和元年 11月14日(木)



一宮市に本店をもつ豊島(株)品質管理室 業務管理課、栗田久里子さんの講演を聴きました。栗田さんは当日、名古屋本社からお越しになりましたが、前日までは東京本社での勤務。さらに、前週1週間は中国のチンタオ(青島)に出張していて、まさにグローバルに活躍している女性です。今回の講演では、仕事上様々な国籍やバックグラウンドの人に出会い、その人たちと交渉していく中で大切にしなければならないものを、本校の生徒たちに伝えてくださいました。また、家庭では2児の母でもあり、このように自分の仕事ができるのは家族の支えがあればこそと、周りへの感謝もお話しされました。講演の流れは以下の通りです。

- 1 5秒で自己紹介ができるように ⇒常にその準備をして、印象に残る自己紹介をする
- 2 見た目を磨く ⇒背筋を伸ばした姿勢、キリッ・ニコツとした顔、清潔で、TPOに合わせた服装
- 3 コミュニケーション力を磨く ⇒一生懸命聞いてくれる人には好感をもつもの。聞き上手(相手の目を見る、身体を向ける、相槌をうつ)になる。
- 4 魅力的な人になる ⇒魅力的な言葉で話ができる(多くの本を読む)、印象のいい言葉を使う(母語の力は大切)、日本の魅力を理解する。

この話と並行して栗田さんは、ご自身の現在の仕事や企業の社会的責任について、さらにはSDGsについても話されました。



後半には、生徒たちの成功体験や失敗体験の内容、そしてそのときの心情についてチャートに記入させ、それぞれの体験で得たものを糧にモチベーションをもち続けることの重要性を説かれました。

栗田さんは、中国語の通訳資格だけでなく、繊維・ファッション業界で仕事をしていることもあり、その人に似合う色の診断ができる「ベースカラー診断士」の資格もお持ちです。生徒たちは自分のイメージカラーが何なのかなど、興味をもって聴いていました。

最後に生徒たちは、ウォルトディズニーが言ったとされる “It can be imagined, it can be created.” に合わせて、なりたい自分を想像し、そしてそれが実現(創造)できるよう、一人一人が皆の前で「決意表明」をすることで講演が終わりました。

この日の受講メモはいったん回収し、栗田さんにお届けします。その一枚一枚に栗田さんが目を通したあと、今度は栗田さんから、それぞれにメッセージを添えて生徒に返却となります。

